

長野市立三本柳小学校 開催要項

長野市立三本柳小学校

一 期日 令和7年11月6日（木）

二 会場 長野市立三本柳小学校（電話 026-284-3599）

三 共同研究者 三重大学 教授 岡野 昇 先生

四 日程

1 受付 12:50～13:10

※役員・共同研究者の先生方は、職員玄関よりお越しください。

2 授業公開 13:15～14:00

（1）授業学級	2年2組	6年3組
（2）授業者	伊藤 白花 教諭	赤津 光希
（3）教科	算数	算数
（4）単元名	「かけ算」	「比例と反比例」

3 開会式（多目的室）14:10～14:20

（1）開会の言葉	進行	会場校教頭	横谷 智子
（2）主催者挨拶	信濃教育会総務・会計部長	清水 恒善	様
（3）諸連絡	三本柳小学校教務主任	堀内 慶治	
（4）閉会の言葉			

4 授業研究会（多目的室）14:20～14:50 進行 三本柳小学校研究主任 木内 亮介

5 講演会（多目的室）14:50～16:30

共同研究者 三重大学 教授 岡野 昇 先生

6 閉会式（多目的室）16:30～16:40

（1）開会の言葉	進行	会場校教頭	横谷 智子
（2）会場校挨拶	三本柳小学校校長	宮本 由希子	
（3）諸連絡	三本柳小学校教務主任	堀内 慶治	
（4）閉会の言葉			

三本柳小学校周辺地図 駐車場案内



三本柳小学校

駐車場のご案内

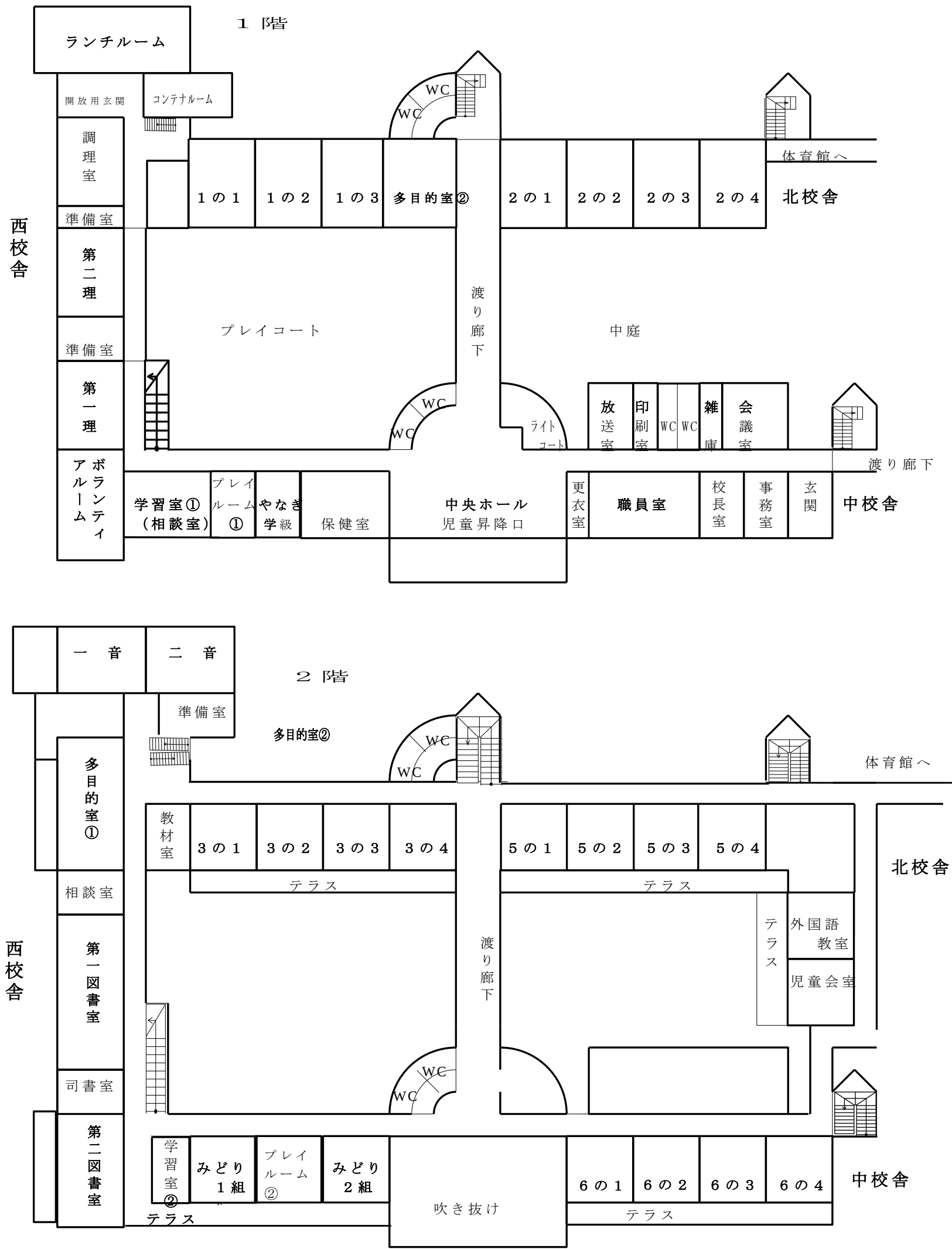


<連絡>

- ・西校舎保全工事のため、工事資材が置かれており、車両の出入り等がございます。
お気をつけください。

令和 7 年度 教室配置

児童プラザ↓（放課後…ランチルーム・調理室・理科室・図書館を使用）



I 学校のめざす子どもの姿

水と緑と陽光に愛され、人のやさしさのわかる子ども
学校教育目標 「智」生きる知恵 「仁」思いやり 「勇」心の強さ
令和7年度 「つながり 拡げる 明日への力」

II 本年度の重点

自ら学び続ける力を育むための授業づくりのあり方

～自分で考え、伝え合い深める～

本年度の三本柳小学校では、重点の一つである「自分で考え 伝え合い深める」を具体の姿とするために「聴く 受け止める」姿勢を大切に、教師も子どもも、互いに思いを聴き合うことをベースに以下の3点を大切にしながら授業づくりに取り組んでいる。

- ① 授業の中で、子どもが友だちの考えを「知りたい」「聴きたい」と思えるような学習環境づくり
- ② 教師も子どもも「わからない」という気持ちを大切に、「何がわからないのか」その気持ちを受け止め、子ども同士で語り合いながら問題解決に向かっていくような授業のあり方
- ③ 教職員一人ひとりが自己テーマをもち、それをもとにした授業づくり

III 本年度の研究のあゆみ

「子どもを変える」から「子どもの環境を変える」へ

令和5年度より、共同研究者である三重大学教授の岡野昇先生とともに、子どもたちの姿について語り合い、まずは授業の中で子どもが友だちの考えを「知りたい」「聴きたい」と思えるような学習環境づくりや、子ども同士で語り合いながら問題解決に向かっていけるような授業のあり方について共同研究を行ってきました。その中で、岡野先生からは、これまでの「子どもを変える」という発想から「子どもの環境を変えること」で、子どもの能力を引き出していくという発想の転換についてご助言をいただき、子どもたちが「主体的に学べる」環境づくりに焦点を当てて研究に取り組んでいます。



教室環境については、子どもの主体性を生み出す視点から、子ども同士で伝え合い、学びを深めるための座席の工夫、子どもたちが主体的に学習に取り組める教室環境の工夫を行ってきました。また、教師も子どもたちにとっては学習環境のひとつであることから、「子どものわからなさを聴いて、受け入れ」それを「つなげる」「ひろげる」といったことを大切にした関わりを意識しています。

全校で学習環境の改善に取り組んできたことで、教師の言葉がけや、授業の展開にも少しずつ変化がみられるようになりました。昨年度は「体育」の授業づくりを中心に研究を進め、関わり、学び合える場づくり、教材研究について意識が深まりました。

今年度は、算数科における授業づくりに挑戦しています。
子どもたちの「聴き合う関係」「学び合う関係」を築くため
にはどうしたらよいか研究を重ねたり、共有の問題とジャン
プ問題が適切かどうかについて議論を重ねてきました。

子どもの様子から、たくさんのご意見をいただくことで、
子どもたちが主体的に取り組める学習環境について今後の
研究につなげていきたいと考えています。



IV 自己テーマ

(6年3組 授業者 赤津 光希教諭)

「子どもが『やってみたい』と思って考えながら学べる授業づくり」



(2年2組 授業者 伊藤 白花教諭)

「子どもの考えや気持ちに寄り添った学習展開を工夫する授業づくり」

第1時	第2、3時	第4、5、6時	第7、8時	第9 (本時)、10時
比例の定義	比例定数	比例のグラフ	グラフの読み取り	比例の利用
比例かどうか判断する。	決まった数があることに気づく。	式や表から比例関係をグラフに表す。	比例のグラフから色々な事柄を読み取る。	比例関係を利用して、およその数を求める

はじめ
問題把握

【ねらい】

比例関係を利用して、工夫して全体のおよその数を求めることができる。

なか
ステップ
課題

学習問題【 比例関係を使っておよその数を求めよう 】

<ステップ課題>

紙がたくさんあります。この紙の中から約300枚を用意する方法を考えましょう。

- ・1枚がどれくらいの重さ(高さ)なのか分かればそれが300枚分だから…
- ・【10枚の重さが知りたい】【30枚の高さが知りたい】
- ・10枚で120gだから、 $120 \div 10 = 12$ で「決まった数」(1枚の重さ)が「12」で、 $12 \times 300 = 3600$ g
- ☆紙の重さが 3600g になるようにすれば、約300枚の紙を用意できる。
- ☆紙の高さが 60mm になるようにすれば、約300枚の紙を用意できる。

ジャンプ
課題

<ジャンプ課題>

次の表は、去年使っていたガス暖房器の使用時間とガス代を示しています。

使用時間(時間)	1	2	3	4
ガス代(円)	9	18	27	36

今年、少し大きめのガス暖房器に買い替えたところ、1.5倍のガス代が必要となりました。11月にガス代として使えるお金は2000円です。このガス暖房器は1日あたりおよそ何時間使えると言えますか。

- ・1.5倍ということはこの表のガス代が全部1.5倍になるってこと?
- ・ガス代(y)が2000円のときは、使用時間(x)はどれくらいだろう。
- ・ $2000 \div 13.5$ が割り切れない。どうしよう。

<流れ>

- ①共有問題
- ②困ったことについて全体で共有し、正しい式や考えを導き出す。
- ③比例の考え方(式、表、グラフ)を使えば解けることを理解する。
- ④ジャンプ問題

おわり

まとめ

第9時	第10時	第11時	第12時	第13時	第14時（本時）
2の段	3の段	3の段	4の段	4の段	かけられる数とかける数
2の段の九九を用いて問題を解く。	3の段の九九を構成し、練習する	3の段の九九を用いて問題を解く。	4の段の九九を構成し、練習する	4の段の九九を用いて問題を解く。	基準量は後に示された問題を解く。

はじめ
問題把握

【ねらい】

基準量が後に示された問題を、1つ分は何かを考えて、かけ算の式に表して九九を使って解決する。

なか
共有問題

ジャンプ

おわり
九九の式について
理解する

学習問題 【1つ分の数は何かを考えて、かけ算の式をつくらう。】

① おかしの はこが 3はこ あります。1つの はこには、おかしが 5こずつ 入っています。おかしは ぜんぶで 何こ ありますか。

図やアレイ図をつかって考える。

予想される回答

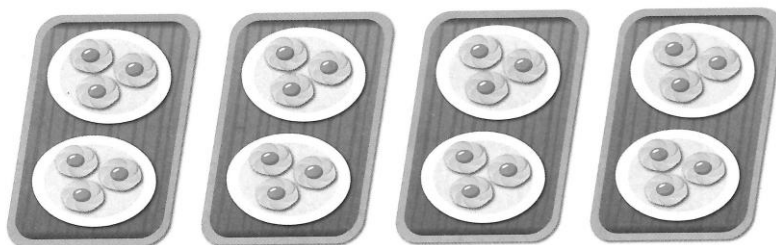
しき $3 \times 5 = 15$

しき $5 \times 3 = 15$

<流れ>

- ① 共有問題
- ② 出た式について全体で共有し、正しい式を導き出す
- ③ かけ算の式の意味を理解する
- ④ ジャンプ問題

クッキーは全部で何まいありますか。かけ算をつかってもとめましょう。



予想される回答

しき $3 \times 8 = 24$ (いくつ分がお皿の枚数)

しき $6 \times 4 = 24$ (いくつ分がおぼんの枚数)

しき $3 \times 2 = 6$ $6 \times 4 = 24$